

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

姫路福祉保育専門学校実施報告書



実施主体 姫路福祉保育専門学校保育こども学科 1・2年生

実施内容 子育て広場での啓発活動と、オレンジリボン作成

①事前に取り組んだ内容

- 学校の講義「社会福祉」「社会的養護」において、児童虐待に関する知識を得た。それに基づいてホームルーム等を利用して、児童虐待をどうすれば減らしていけるか、学生自身の力で何ができるかを討論した。
- 自分たちにできることの一つとして、姫路市役所内で使用するオレンジリボン作成に参加させてもらうことで、児童虐待防止に関わる社会的な活動に携わることに関心を持ち意識付けする。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- 10月2日（月）に姫路市こども家庭総合支援室へ伺って、姫路市の最新の虐待件数やその内容について学んだ。また姫路市に通告があった場合の具体的な対応について聞き、これから保育士として働き始めて虐待ではないかと疑われる場面に遭遇した場合の望ましい対応方法について具体的に聞くことができた。
- 10月28日（土）本校内で毎月行っている子育て広場『ひめちゃんくらぶ』実施時に、参加された保護者にオレンジリボンのチラシとリボンを渡して啓発活動を行った。活動内容がハロウィンだったので、オレンジ色の大きなパンツを作成して楽しんだ。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

- 虐待を減らしていく、無くしていくために自分たちができることは何なのか主体的に考えることに繋がった。大きな事柄でなくても、身近なところから啓発活動に協力し自分たちが児童虐待防止月間の11月にオレンジリボンをどこかに身につけて社会的に啓発することを心掛けることで小さな一歩につながることを体験することができた。
- 学内で実施している子育て広場「ひめちゃんくらぶ」を実施する際に、参加されている親子連れに対してポスターを掲示し、プリントとリボンを渡して啓発運動を行った。
- 学生がこれから保育士として働きだした時に通告の連絡を入れた先でどのような対応をされていくのかが分かり、今後虐待の疑いがある場合の対処方法を具体的にイメージすることに繋がった。

写真



【学校名】 <http://himefuku.ac.jp>